

## 第2 調査結果の概要

## I 市民生活

### 1 居住区

「港北区」が9.2%、「青葉区」(8.0%)、「戸塚区」(7.5%)、「鶴見区」(6.8%)で上位

居住区について聞いたところ、「港北区」が9.2%と最も多く、次いで「青葉区」(8.0%)、「戸塚区」(7.5%)、「鶴見区」(6.8%)などの順になっている。一方「瀬谷区」が2.5%と最も少なく、次いで「西区」(2.8%)、「中区」(2.9%)などとなっている。(問1/28ページ)

### 2 生活満足度

『満足』している人は62.5%

今の生活の満足度について聞いたところ、「満足しているほう」(18.7%)と「まあ満足しているほう」(43.8%)を合わせた『満足(計)』は62.5%となっている。一方、「やや不満があるほう」(15.0%)と「不満があるほう」(7.7%)を合わせた『不満(計)』は22.7%となっている。(問2/29ページ)

### 3 居留意向

定住意向は79.0%

今後も横浜市に住み続けたいかについて聞いたところ、「住み続けたい」(49.8%)と「どちらかといえば住み続けたい」(29.2%)を合わせた『定住意向(計)』は79.0%となっている。一方、「どちらかといえば他の市に移りたい」(4.9%)と「他の市に移りたい」(2.2%)を合わせた『転出意向(計)』は7.1%となっている。(問3/31ページ)

## II 政治意識

### 1 市政への関心

横浜市政に関心を持っている人は70.5%

横浜市政への関心について聞いたところ、「非常に関心を持っている」(18.7%)と「多少関心を持っている」(51.8%)を合わせた『関心がある(計)』は70.5%となっている。一方、「あまり関心を持っていない」(15.0%)と「まったく関心を持っていない」(2.7%)を合わせた『関心がない(計)』は17.7%となっている。(問4/33ページ)

### 2 政治関心レベル

「国政レベル」への関心が49.6%

政治上の問題、できごと、行政の動きなど、どのレベルに最も関心を持っているかについて聞いたところ、「国政レベル」が49.6%で最も多く、次いで「市政レベル」(15.2%)、「県政レベル」(4.4%)の順となっている。また、「どれにも同じように関心がある」が23.9%となっている。(問5/36ページ)

### 3 支持政党

支持政党が「ある」人は35.0%

支持政党の有無を聞いたところ、「ある」が35.0%、「ない」が64.7%となっている。(問6/39ページ)

#### 4 政治・選挙意識

##### (1) 政治は、われわれの日常生活とは切り離せないものだ

「そう思う」が 87.6%、「そうは思わない」が 10.1%になっている。(問 7 / 42 ページ)

##### (2) 選挙があるからこそ、有権者の声が政治に反映するようになる

「そう思う」が 62.1%、「そうは思わない」が 35.6%になっている。(問 7 / 43 ページ)

##### (3) 投票には行くが、それ以上は政治にかかわりたくない

「そう思う」が 42.2%、「そうは思わない」が 54.6%になっている。(問 7 / 44 ページ)

##### (4) われわれが努力したところで、政治はよくなるものではない

「そう思う」が 50.3%、「そうは思わない」が 47.1%になっている。(問 7 / 45 ページ)

### Ⅲ 市長選挙での投票行動

#### 1 選挙を知った方法

##### (1) 選挙を知った方法

「テレビ・ラジオの報道から」が 67.4%

今回の選挙が行われることを何で知ったか聞いたところ、「テレビ・ラジオの報道から」が 67.4%で最も多く、次いで「新聞・雑誌等の報道から」(40.4%)、「ポスター掲示場の候補者のポスターから」(40.3%)、「インターネットの情報から」(31.0%)、「候補者の選挙運動(街頭演説、候補者の選挙カーなど)を見たり聞いたりして」(27.0%)の順となっている。(問 8 / 46 ページ)

##### (2) 見聞きしたもの

「投票のご案内」が 51.7%、「自治会・町内会の掲示板ポスター」が 43.7%

選挙の投票参加の呼びかけにおいて、見たり聞いたりしたものについて聞いたところ、「投票のご案内(封書で世帯ごとに郵送)」が 51.7%で最も多く、次いで、「自治会・町内会の掲示板ポスター」(43.7%)、「横断幕・懸垂幕・看板・フラッグ」(37.4%)、「『広報よこはま』(8月号)」(32.4%)などの順となっている。また、「インターネット・バナー広告・動画広告」については、前回調査から 8.1 ポイント増の 16.0%となるなど、若年層を中心に大きく伸びている。(問 9 / 48 ページ)

##### (3) 印象が強かったもの

「投票のご案内」が 19.0%、「自治会・町内会の掲示板ポスター」が 14.8%

市長選挙の投票参加の呼びかけにおいて、見たり聞いたりしたものうち印象が強かったものについて聞いたところ、「印象が強かったものはない」を除き、「投票のご案内(封書で世帯ごとに郵送)」が 19.0%で最も多く、次いで、「自治会・町内会の掲示板ポスター」(14.8%)、「横断幕・懸垂幕・看板・フラッグ」(13.8%)、「『広報よこはま』(8月号)」(8.1%)などの順となっている。また、「インターネット・バナー広告・動画広告」については、前回調査から 3.9 ポイント増の 6.6%となるなど、若年層を中心に伸びている。(問 9 / 50 ページ)

## 2 期日前投票、不在者投票について

### (1) 期日前投票、不在者投票の認知度

「知っていた」は 93.7%

期日前投票、不在者投票を知っていたか聞いたところ、「知っていた」が 93.7%、「知らなかった」は 3.3%で「知っていた」がほとんどを占めている。(問 10/52 ページ)

### (2) 期日前投票について知っていること

「投票日前に投票できる制度であること」は 98.0%

期日前投票、不在者投票を「知っていた」と答えた方(2,297人)に、期日前投票について知っていることを聞いたところ、「投票日前に投票できる制度であること」が 98.0%で最も多く、次いで「仕事や買い物、旅行などを理由として期日前投票ができること」が 72.8%、「各区に臨時の期日前投票所が設置されていること」が 63.6%などの順になっている。(問 10-1/53 ページ)

## 3 投票への参加状況

### (1) 投票への参加状況

当日に投票した人は 53.9%、期日前投票又は不在者投票をした人は 19.9%、投票した人の計は 73.8%

市長選挙への参加状況を聞いたところ、「投票した(投票日当日)」が 53.9%で最も多く、次いで「投票しなかった」が 21.5%、「投票した(期日前・不在者)」が 19.9%の順になっており、投票した人の合計は 73.8%となった。(問 11/55 ページ)

### (2) 投票の動機

「生活をよくするために投票することが大切だから」が 61.4%

市長選挙に「投票した」と答えた方(1,809人)に、投票の動機について聞いたところ、「生活をよくするために投票することが大切だから」が 61.4%と最も多く、次いで「投票することは権利だから」(56.7%)、「投票することは国民の義務だから」(48.6%)などの順となっている。(問 11-1/58 ページ)

### (3) 候補者選定の基準

「政策や主義・主張」が 54.0%

市長選挙に「投票した」と答えた方(1,809人)に、候補者選定の基準について聞いたところ、「政策や主義・主張」が 54.0%と最も多く、次いで「われわれの立場の代表者としてふさわしいかどうか」(14.7%)、「人柄や人物」(9.5%)、「支持政党の推す候補者かどうか」(4.7%)の順になっている。(問 11-2/60 ページ)

### (4) 棄権の理由

「仕事など選挙より重要な予定があったから」が 16.9%

市長選挙に「投票しなかった」と答えた方(526人)に、棄権の理由を聞いたところ、「仕事など選挙より重要な予定があったから」が 16.9%で最も多く、次いで「あまり関心がなかったから」(13.1%)、「投票したい候補者がいなかったから」(11.0%)、「病気(看護を含む)だったから」(10.1%)、「どの候

補者がよいかわからなかったから」(7.0%)などの順となっている。(問 11-3/62 ページ)

#### 4 投票のご案内について

##### (1)「投票のご案内」の確認状況

「投票のご案内」を見た人は 85.6%

「投票のご案内」を見たか聞いたところ、「見た」が 85.6%、「見ていない」が 11.3%となっている。  
(問 12/64 ページ)

##### (2)「投票のご案内」の持参状況

「投票のご案内」を持って行った人は 77.2%

投票のご案内を「見た」と答えた方(2,098人)に、投票所への持参状況について聞いたところ、「持って行った」が 77.2%、「持って行かなかった」が 5.6%となっている。(問 12-1/66 ページ)

##### (3)「投票のご案内」を持参しなかった理由

「無くても投票できることを知っていた」が 59.3%

「投票のご案内」を「持っていかなかった」と答えた方(118人)に、持って行かなかった理由について聞いたところ、「無くても投票できることを知っていた」が 59.3%と最も多く、次いで「持っていくのを忘れた」(17.8%)、「持っていくものだということを知らなかった」(17.8%)となっている。(問 12-2/68 ページ)

#### 5 選挙運動の接触と効果

##### (1) 見聞きした、すすめられた選挙運動等

「候補者のポスター」が 47.7%

今回の選挙で、見聞きした選挙運動等を聞いたところ、「候補者のポスター」が 47.7%で最も多く、次いで「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌などの選挙報道・評論」(35.6%)、「選挙公報」(32.3%)、「候補者のインターネットによる選挙運動(ホームページ、電子メール、SNS)」(20.4%)、「候補者の街頭演説や個人演説会」(20.0%)などの順となっている。(問 13/70 ページ)

##### (2) 候補者の選定に役立った選挙運動等

「選挙公報」が 34.6%

今回の選挙で投票した方(1,809人)に、候補者の選定に役立った選挙運動等について聞いたところ、「選挙公報」が 34.6%で最も多く、次いで「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌などの選挙報道・評論」(31.2%)、「候補者のインターネットによる選挙運動(ホームページ、電子メール、SNS)」(20.8%)、「候補者のポスター」(17.1%)、「家族との話し合い」(9.3%)などの順となっている。(問 13/71 ページ)

### (3) 選挙運動等の有効率

「選挙公報」が 91.3%

選挙に「投票した」と答えた方(1,809人)が見聞きした、すすめられたもののうち、候補者の選定に役立ったと回答した割合を「有効率」として表した。有効率は、「選挙公報」が91.3%で最も多く、次いで「候補者のインターネットによる選挙運動(ホームページ、電子メール、SNS)」(89.7%)、「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌などの選挙報道・評論」(82.5%)などの順となっている。一方、有効率の低いものは、「候補者の選挙運動用自動車や街頭における氏名の連呼」(12.7%)、「電話による勧誘」(20.7%)などとなっている。(問13/72ページ)

## IV 投票率や制度の改善に関する意識

### 1 投票率の低下

「投票率が低下することは問題であるから、何らかの対策を講じるべきだと思う」が 56.0%

最近の選挙での投票率の低下について聞いたところ、「投票率が低下することは問題であるから、何らかの対策を講じるべきだと思う」が56.0%と最も多く、次いで「自分たちの代表を選ぶ選挙だから好ましくないが、やむを得ないと思う」(20.9%)、「投票するかしないかは個人の自由なので、別に構わないと思う」(11.2%)などとなっている。(問14/73ページ)

### 2 若年層における投票意識の向上

「政治や選挙について学校等での主権者教育の充実」が 58.2%

若年層における投票意識の向上について聞いたところ、「政治や選挙について学校等での主権者教育の充実」が58.2%で最も多く、次いで「家族が選挙に行く」(40.3%)、「政治や選挙に関する家庭内での話し合い」(29.3%)の順となっている。(問15/75ページ)

### 3 棄権に対する考え方

「当選しても公約を守らない政治家がいる等、有権者として無力感を感じないわけではないが、棄権はやはりよくない」が 35.1%

棄権することについて聞いたところ、「当選しても公約を守らない政治家がいる等、有権者として無力感を感じないわけではないが、棄権はやはりよくない」が35.1%で最も多く、次いで「政治への不信から棄権するのも無理はない」(23.5%)、「棄権するかしないかは個人の自由なので、別に構わないと思う」(17.7%)の順となっている。

棄権に対して「当選しても公約を守らない政治家がいる等、有権者として無力感を感じないわけではないが、棄権はやはりよくない」(35.1%)と「選挙権は、国民に与えられた政治参加の機会であるから、棄権はいけない」(16.4%)を合わせた『否定的な意見(計)』は、51.5%となった。一方、「政治への不信から棄権するのも無理はない」(23.5%)と「棄権するかしないかは個人の自由なので、別に構わないと思う」(17.7%)と「今の政治と政治家に反省を求めるために、むしろ1人でも多くの有権者が棄権した方がよい」(1.1%)を合わせた『肯定的な意見(計)』は、42.3%となった。(問16/77ページ)

#### 4 投票所施設

##### (1) 投票所施設への不満の有無

不満がある人は 21.3%

投票所の施設などについての不満を聞いたところ、不満が「ある」が 21.3%、「ない」が 73.5%となっている。(問 17/79 ページ)

##### (2) 投票所施設への不満点

「投票所までの距離が遠い」が 42.4%

投票所の施設などについて不満が「ある」と答えた方(523人)に、不満に思うことは何か聞いたところ、「投票所までの距離が遠い」が 42.4%で最も多く、次いで、「投票所の雰囲気堅苦しい」(25.0%)「有権者が多く、並んで待たなければならない」(17.6%)などの順となっている。(問 17-1/81 ページ)

#### 5 身体に重度の障害のある方等の郵便投票制度の認知

##### (1) 郵便投票制度の認知度

郵便投票制度を「知っていた」は 27.6%

身体に重度の障害のある方や要介護5の方が自宅等で郵便により投票ができること(郵便投票制度)を知っているか聞いたところ、「知っていた」は 27.6%、「知らなかった」は 69.9%となっている。(問 18/82 ページ)

##### (2) 郵便投票制度を知ったきっかけ

「『投票のご案内』同封の啓発チラシ」が 37.2%

「知っていた」と答えた人(677人)に、知ったきっかけを聞いたところ、「『投票のご案内』同封の啓発チラシ」が 37.2%で最も多く、次いで、「『広報よこはま』」(29.0%)、「『暮らしのガイド』」(10.3%)などの順となっている。(問 18-1/82 ページ)

#### 6 病院・高齢者施設等に入院・入所している方の施設内投票制度の認知

##### (1) 施設内投票制度の認知度

施設内投票制度を「知っていた」は 27.1%

都道府県選挙管理委員会が指定した病院や老人ホーム等に入院、入所している方がその施設で投票ができることを知っているか聞いたところ、「知っていた」は 27.1%、「知らなかった」は 70.4%となっている。(問 19/84 ページ)

##### (2) 施設内投票制度を知ったきっかけ

「『広報よこはま』」が 24.2%

「知っていた」と答えた人(664人)に、知ったきっかけを聞いたところ、「『広報よこはま』」(24.2%)、「『投票のご案内』同封の啓発チラシ」(23.3%)、「友人から」(10.4%)などの順となっている。(問 19-1/84 ページ)

## 7 新型コロナで宿泊・自宅療養等をしている方の特例郵便等投票の認知

### (1) 特例郵便等投票の認知度

特例郵便等投票を「知っていた」は18.9%

新型コロナウイルス感染症で宿泊・自宅療養等をしている方で、一定の要件に該当する方は、「特例郵便等投票」ができることを知っているか聞いたところ、「知っていた」は18.9%、「知らなかった」は78.5%となっている。(問20/86ページ)

### (2) 特例郵便等投票を知ったきっかけ

「テレビ、新聞等での報道」が57.7%

「知っていた」と答えた人(463人)に、知ったきっかけを聞いたところ、「テレビ、新聞等での報道」(57.7%)、『投票のご案内』に同封の啓発チラシ(34.3%)、「選挙管理委員会のホームページ」(6.7%)などの順となっている。(問20-1/86ページ)

## V 選挙意識

### 1 政治家の寄附が罰則の対象となることの認知と認知媒体

#### (1) 政治家の寄附が罰則の対象となることの認知

政治家の寄附が罰則の対象になることを「知っていた」は89.1%

政治家が選挙区内の人に寄附をすることは禁止されており、原則として罰則の対象となることを「知っていた」は89.1%、「知らなかった」は8.9%となっている。(問21/89ページ)

#### (2) 政治家の寄附が罰則の対象となることを知ったきっかけ

「テレビ、ラジオ」が62.7%

政治家の寄附が罰則の対象となることを「知っていた」と答えた方(2,185人)に、知ったきっかけを聞いたところ、「テレビ、ラジオ」が62.7%で最も多く、次いで「新聞」(29.7%)、「家族や知人の話」(12.3%)などの順となっている。(問21-1/89ページ)

### 3 罰則をもって禁止されている寄附にあたるもの

「お歳暮やお中元、おみやげ」が84.3%

罰則をもって禁止されている寄附にあたるものを知っているか聞いたところ、「お歳暮やお中元、おみやげ」が84.3%で最も多く、次いで「お祭りへの寄附や差し入れ」(59.2%)、「秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典」(49.0%)、「葬式の花輪、供花」(46.6%)、「地域の運動会やスポーツ大会への差し入れ」(45.7%)の順となっている。(問22/91ページ)